

吉浦中学校区小中一貫教育推進協議会だより

あ

い

「あい」は eye 自分の目で何が正しいかを見抜いてほしい

「あい」は I 自分自身を大切にしてほしい

「あい」は 会い 人との出会いを大切にしてほしい

「あい」は 愛 人にも自分にも愛の心で接してほしい

令和4年3月17日

令和3年度を振り返って

新型コロナウイルスの感染第6波で、3学期も諸々の活動に制限が続いています。現在、中学校2年生の修学旅行が延期となっており、6波の終息を願うばかりです。こんな日々があとどれくらい続くか分かりませんが、子どもたちの学びを止めないよう、家庭・地域・学校が協力し、引き続き感染に警戒をしながらできることを確実に行っていきましょう。

さて、吉浦中学校区の小中一貫教育は、「郷土を愛し、心豊かで、たくましく生きるため、主体的に学ぶ児童生徒の育成～教科等の本質に迫る『考える授業』づくりを通して～」を研究テーマとして小学校と中学校が一体となって研究・実践を進めています。

感染対策として、諸々の学習活動に制限がかかる中ではありましたが、小中学校で工夫しながら研究授業を行い、互いに学びを深めてきました。

また本年度は、市内全小中学校でタブレット型端末が導入されたことから、ICTを活用した授業にも取り組み、それぞれの先生方が戸惑いながら、試行を重ね、児童生徒に指導してきました。導入から一年が経ち、先生方も子どもたちも扱いに慣れ、授業の中で円滑に活用できているように思います。

とは言え、重要なのは授業そのものの展開であり、教科等の本質に迫る「考える授業」ができたかが問われます。

先生方の授業はどのように変わったでしょうか。そしてそこにいる子どもたちの姿はどう変わったでしょうか。子どもたちの姿に、変化に注目してってください。

授業提案していただいた先生方、貴重な授業をありがとうございました。また、指導・助言をしていただいた広島県教育委員会・呉市教育委員会指導主事様に感謝申し上げます。

終わりに、令和5年度から公立の高校入試が大きく変わり、15才の生徒に身につけておいてもらいたい力として「自己を認識する力」、「自分の人生を選択する力」、「表現する力」を設定し、入試の「自己表現」において評価し、選抜することになります。

「考える授業」を通して、小学校段階から中学校段階までを通して計画的に取り組を進めていかななくてはなりません。

令和4年度も引き続き、小中学校で力を合わせて研究を進めていきますのでご支援・ご協力をお願いいたします。

一年間ありがとうございました。

吉浦中学校長 河本 英希



令和3年度2、3学期の小中一貫教育の活動での様子

①乗り入れ授業〔中・第8学年→小・第6学年 総合的な学習の時間〕（12月5日）

中2生徒が総合的な学習の時間「吉浦で働く人たちの思いを未来につなげよう」を通して学んだことを小6児童に向けて発表しました。



中学生の発表の中にあつたクイズが楽しかった!



6年生 発表をよく聞いてくれるなあ

発表後には、たくさんの6年生が積極的に感想を述べてくれました。

②乗り入れ授業〔中・数学科教諭→小・第6学年 算数科〕（3月15日）



答えをよく見つけたね!



考えたら分かった! 発表するぞ!

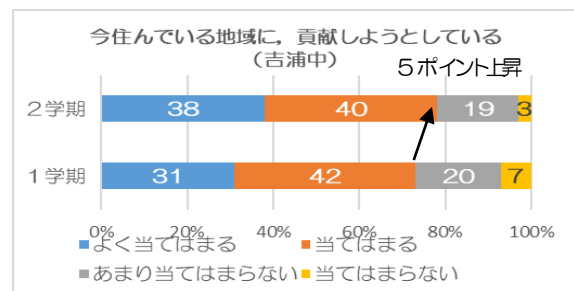
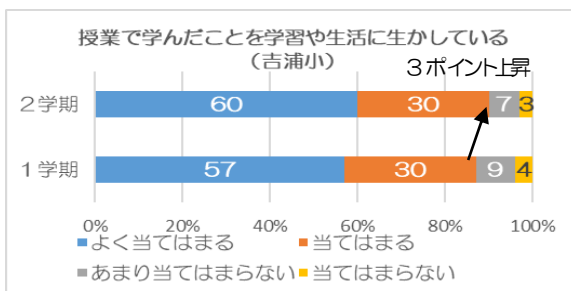


めあて：正方形の1辺の長さを考えることができる。



かけて2㎡にするのは...

③今年度の研究内容は「考える授業づくり」と「郷土について理解を深めさせる」でした。伸びの大きかった検証結果の一部をのせています。



小学校は学んだことを活用する力や意識に高まりが見られました。中学校は地域に貢献しようとする態度に高まりが見られました。